

言語能力育成単元

●言語能力の育成を目指し、「本編」は複数の教材による単元構成としました。
●学習指導要領の国語科の目標にある「伝統的な言語文化」「表現力」「理解力」「伝え合う力」「思考力」「想像力」「言語感覚」を7つの身につけたい言葉の力と捉え、単元名としています。

伝統的な
言語文化

表現力

理解力

学習指導要領
「国語」科 教科目標から

伝え合う力

7つの身につけたい
言語能力

思考力

想像力

言語感覚

「国語」科 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

(伝統的な言語文化)

思考力1 (論理的に考える)

学習目標

学習目標

学習目標

学習目標

言葉のレッスン

漢字を身につけよう

中学校で学ぶ漢字

漢字

漢字を使いこなそう

小学校で学んだ漢字

文法

単語の類別・品詞

信頼をつなぐ 小関智弘

読むこと(説明的な文章)

書くこと

学校案内リーフレットをつくろう

本編(必修)

確かめよう

学びを広げる

リンク

リンク

読む

文章の内容を
まとめるには(解釈)

書く

書いた文章を
見直すには(推敲)

- 「常用漢字活用字典」

- 「玄関扉」
- 「説明の具体化」

- 「説明の具体化」
- 「視覚にうったえる編集」

学習の見通しと振り返り

「話すこと・聞くこと」を例に

●教材の前にリード文の形で学習目標(課題)を、教材の後に「振り返る」を計画的に組み入れました。
見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返ることによって自分の学習を診断・評価ができるように構成しています。



課題をもって話そう・聞こう

●社会生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して資料をつくる。
目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話す。

権
254
260

プレゼンテーションをしよう

自分たちが調べたことをわかりやすく報告するには、どのような点に気をつければよいでしょうか。
聞き手に効果的に伝えるには、話し方を工夫するだけでなく、資料となる図表を工夫したり、機器を使って資料を示したりすることも大切です。
情報の整理や発表の仕方、話の組み立て方などを工夫して、プレゼンテーションをしましょう。



振り返る

5 プレゼンテーションをする

4 リハーサルする

3 効果的な伝え方を考える

2 資料を集める

1 計画を立てる

プレゼンテーションをしよう 30

2年 本編「プレゼンテーションをしよう」

単元扉

●各単元の目標と関連した課題(小さな問い)を設定しました。
●楽しみながら考えることから学習を始めます。



本冊「確かめよう」への関連ページを
リンク・マークで示しています。

	スピーチ系	話し合い系	聞くこと系
1年	スピーチをしよう	討論ゲームをしよう	正確に聞き取ろう
2年	プレゼンテーションをしよう	パネルディスカッションをしよう	論理を追って聞こう
3年	パブリックスピーチをしよう	「企画会議」を開こう	対話劇を体験しよう

●「話すこと・聞くこと」の教材と系列

教材のはじめに学習目標を示すことで、見通しをもった学習への取り組みを促します。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では学習の流れをわかりやすくフローチャートで示しています。

「書くこと」によって振り返ります。

学習活動の様子は、具体的な写真で、イメージをつかめるようにしています。

別冊・資料編「学びを広げる」の関連ページをリンク・マークで示しています。

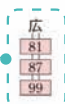
2年 本編「プレゼンテーションをしよう」

振り返る

この学習をとおして考えたことや身についたことを、次の点にそって振り返り、書いてまとめておこう。

- 社会生活の中から話題を決められたか。
- 集めた材料を整理して資料を作れたか。
- その場に応じて、資料や機器などを効果的に活用できたか。

- 5** プレゼンテーションをする
- 声の出し方や表情、身振り手振りなどを工夫して、効果的なプレゼンテーションに取り組んでみましょう。
- 目的にそった資料の集め方ができたか。
 - わかりやすい発表資料が作成できたか。
 - 表情や身振り手振りなどを用いて、効果的に話すことができたか。



35 的確に表す

学習の手引き・読書へのいざない

——「読むこと」を例に

●「本編」の「読むこと」教材の学習の手引きは、3ステップで、言語能力の確かな定着を図ります。
●学習したことが自然に読書生活に結びつくように「本編」の「読むこと」の教材の後には、関連する本を紹介しています。

学習のはじめには、一人一人が「考える」時間をつくりました。

学びの道しるべ

ひとりて学ぶ

良平が体験したことを、時間の順序にしたがって、表にしてまとめよう。

みんなて学ぶ

- 1 次の場面での良平の気持ちを話し合おう。
 - ① 工事場でトロッコを見ているとき。
 - ② ある夕方。
 - ③ そのち十日余りたってから。
 - ・ 工事場へ二軒めの茶店（176ページ2行めまで）
 - ・ 二軒めの茶店へ家の門口
 - ・ 家に戻ってから（179ページ6行めから）
 - ④ 東京へ出てきてから
- 2 情景の描写が、どのような効果をあげているか、話し合おう。
- 3 作品に表れた作者の考え方について、話し合おう。

学びを振り返る

「そのときの彼を思い出すことがある」（179ページ14行め）のはどんなときだと思っか。書いてまとめよう。

広 36

トロッコ 180

一年 本編「トロッコ」

「書く」行為を通して、一人一人の認識を定着させます。

重点化した学習目標にもっとも対応した学習活動を設定しました。集団での学び合いによって、学習効果を高めます。

「読むこと」教材の後ろには、「私の本棚」があります。各学年約40冊の本を紹介しています。難易度に幅をもたせた選定となっています。さらに、「学びを広げる」には各学年約50冊の本を紹介しています。

自分の読書記録を残すことができます。

わたし
ほんだな
私の本棚



獣の奏者
上橋菜穂子

医師の母をもつエリンは、母の死後、ジョウンに命を助けられる。やがてエリンは王獣に魅了され、獣の医学を学び始める。



夜のピクニック
恩田陸

みんなで夜歩くだけの学校行事。楽しみながらも、憂鬱なようでもある。高校生たちのそれぞれの思いを描く。



やったね、
ジュリアス君
クラウディア・リルズ
【訳】 はらるい

夏休み、ジュリアスに課せられたのは、フランス語をマスターすること、ペーシューターをすること。気は重くなるばかりだ。

書名	著者名



広
20

芥川 龍之介



（あくがわりゆうのすけ）
一八九二（明治二五）年—
一九二七（昭和二）年
作家。東京都の生まれ。

『著書』
『蜘蛛の糸』
『河童』
『羅生門』
など



181 ささまざまな見方・考え方を知る

教材の作者・筆者に関連する本も表紙とあわせて紹介しました。

「読むこと」
教材の一覧
◀ P28

学習の系列化と教材

「書くこと」を例に

●学習指導要領の指導事項を踏まえて、学習の系統化・系列化を図りました。学習の基礎・基本が体系的に習得できます。教材には、日常生活・社会生活での課題を取り入れ、生きてはたらく、問題の解決に役立つ場の設定を充実させました。

三年

二年

一年

単元
「理解力」



詩の魅力を伝えよう

単元
「表現力」



「私の友情論」を書こう

単元
「理解力2」




見られる側の言い分

単元
「表現力2」




意見文を書こう

単元
「表現力1」



読書感想文を書こう

単元
「理解力2」



鑑賞文を書こう

単元
「表現力2」

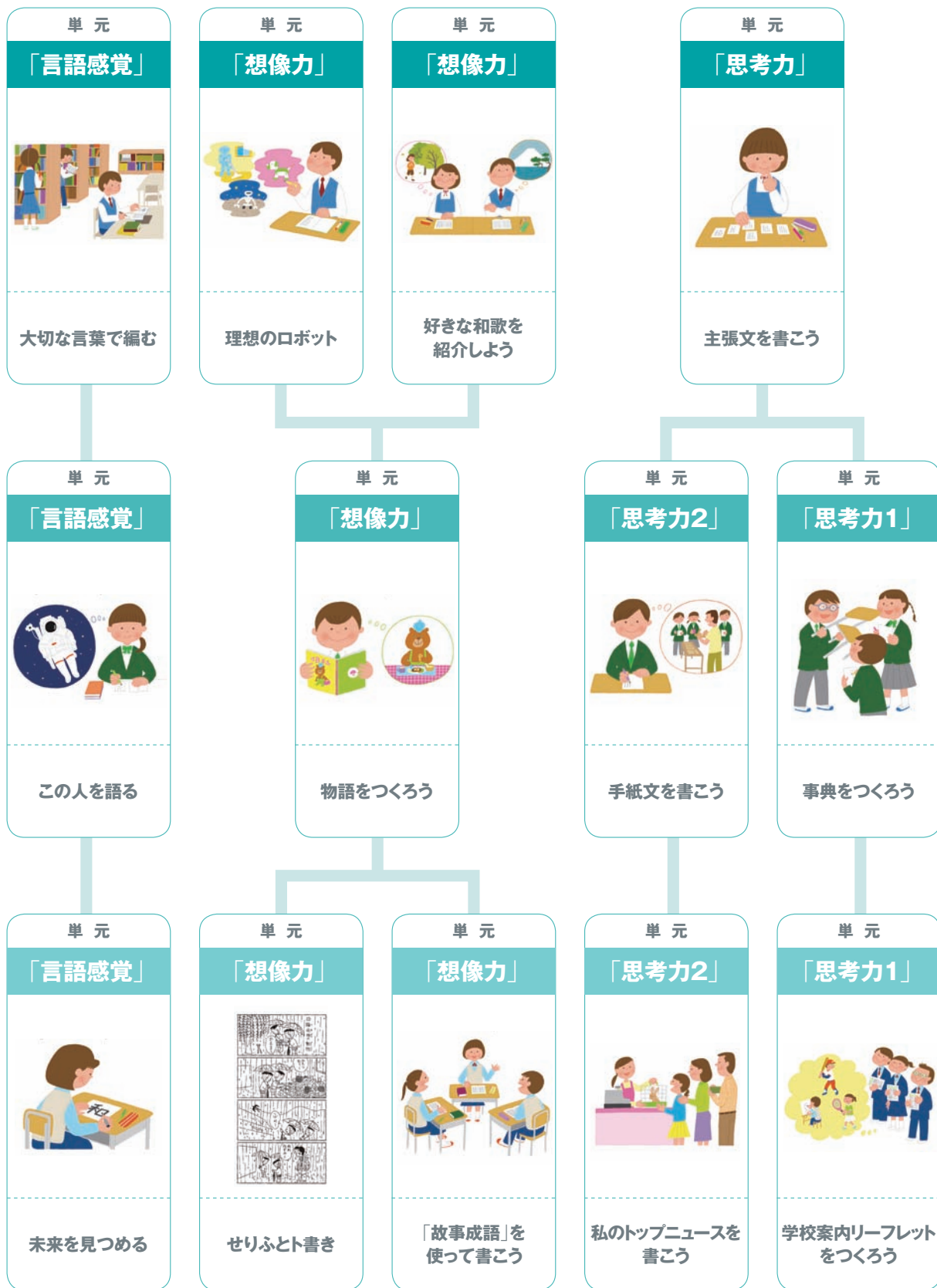


体験文を書こう

単元
「表現力1」



一枚レポートを書こう



新しい形の漢字学習

●小・中関連の漢字学習で、無理なく確実な定着と運用を実現します。
 ●生徒が一人でも繰り返し漢字学習ができるように、三省堂の辞書づくりのノウハウを生かし、本冊の巻末にはその学年で学習する「漢字字典」を、別冊・資料編「学びを広げる」には「常用漢字活用字典」を収録しています。

「漢字を使いこなそう」

各単元の末尾に定期的に教材を配し、復習と確認の機会を増やしました。

一年本編「漢字を使いこなそう」

漢

漢字を使いこなそう

小学校で学んだ漢字

1

1 線部のひらがなを漢字で書こう。
 文化に関係する言葉

- ①わかやはいくは、五音と七音の句によってできています。
- ②はいくのきこはきせつを表します。
- ③のうや狂言は、舞台でじょうえんされるこてんげいのうです。
- ④しんわやむかしばなし、みんななどは、人々の間にてんしょうされてきた口承ぶんげいです。

伝統的な四字熟語

- ①いつしんふらんに読書をする。
- ②予期せめてきごにうおうさおうする。
- ③かくしゆくよくよう、さまざまに取りそろえている。
- ④こうしこんどうをしてはいけない。
- ⑤じきゆうじそくの生活をする。



1

2 線部の漢字の新しい読みを学ぼう。

- ①民の声を聞く。
- ②夏至の時期。
- ③話題に上せる。
- ④神社の神主。
- ⑤今昔の物語。
- ⑥用件を承る。
- ⑦気持ちや和らぐ。
- ⑧場の空気が和む。
- ⑨電車が混む。
- ⑩私の名前。

「冬」の「点々」はなんの形？

広 20

「冬」は古くは「凵」と書きました。下が「凵」となっています。「凵」は「にすい」といい、水が凍ってできた氷の形をかなたっています。また、「氷」も元は「にすい」に「水」がついて「氷」と書かれました。それが、今の字の形に定着したのです。「冷」は氷の

各単元の「身につけたい言葉の力」(例 伝統的な言語文化)と関連しています。漢字や熟語の意味に着目して、テーマごとに系統立てて学びます。

新しい常用漢字について

中学校配当の常用漢字は、新たに加わった196字も「漢字を身につけよう」に、音と訓を同時に学べる形で提出しています。

言語技術（スキル）の習得

——「確かめよう」

●本冊『中学生の国語』には、新たに「確かめよう」を設けました。「本編」での学習を下支えする言語活動の場を具体的に示しました。
 ●「学習のはじめ」に、または「学習のまとめ」に確かめることで、言語能力を確実に身につけます。

例 一年「書くこと」

11



書いた文章を見直すには

小林さんは、自分の書いた文章を見直すことが難しいと感じていました。

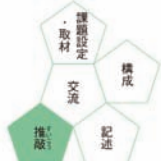
どんな点に注意して見直したらいいのかな？



まず、漢字や言葉遣いにまちがいが
ないか、チェックする必要がある
ね。

他にもっといい言葉がないかを考
えてみるのも大切だね。

主語と述語の関係や、文の続き方
段落の分け方についても、見直す
といいのでは。



書いた文章を見直すには 264

学習指導要領の指導事項に即して、領域ごとに整理しました。重点化・焦点化した学習活動を通して、言語スキルの着実な習得を可能にします。

「確かめよう」「目次（一年の場合）」

「話すこと・聞くこと」

- 1 話題を決めるには
- 2 わかりやすく話すには
- 3 伝わるように話すには
- 4 聞き手を意識して話すには
- 5 聞いた内容を確かめるには
- 6 話題にそって話し合うには

「書くこと」

- 7 書く内容を決めるには
- 8 書く材料を整理するには
- 9 段落の役割を考えて構成するには
- 10 根拠を明確にして書くには
- 11 書いた文章を見直すには
- 12 書いた文章を交流するには

「読むこと（説明）」

- 13 語句の意味を知るには
- 14 中心となる内容を捉えるには
- 15 事実と意見を読み分けるには
- 16 文章の内容をまとめるには
- 17 文章の特徴について考えるには
- 18 必要とする情報を集めるには

「読むこと（文学）」

- 19 語句の意味やイメージをつかむには
- 20 場面の展開を読み取るには
- 21 人物の描写をとおして内容を読み取るには
- 22 心情の変化を読み取るには
- 23 ものの見方や考え方を広げるには
- 24 情報を読み取り、理解を深めるには

私の夢は、世界の貧しい子どもたちを救いたい。そう考えた理由は、食べるものや水さえも満足になく、勉強ができないばかりか、小さいうちになくなってしまふ子どもたちが世界には多くいることを、テレビで知った。そのため今は、始めて会った人とも心が通じ合えるように、コミュニケーションの力を高めるために努力しています。例えば、いろいろな行事に積極的に参加し、協力して役目を果たしています。

小林さんが書いた文章

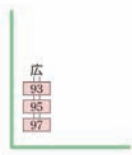
書いた文章を見直すには

- ① 表記や語句の使い方がまちがっていないか、確かめよう。
- ② 伝えたいことを読み手によりよく伝えるにはどうしたらよいか、考えよう。

確かめよう

★確かめてみよう★

上の文章の——の部分を書き直してみよう。また、二つの段落に分けてみよう。



265 書くこと

見開き2ページ単位で、わかりやすい構成です。一つ一つの教材を繰り返して学ぶことを想定しています。

振り返り